

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

今日の花は、南天(ナンテン)、花言葉は「幸せ」「よい家庭」「福をなす」。冬景色の中でも、くっきりした赤い実は小さくてもよく目立ち、周囲を彩

る効果がある。地域でも家庭でも求められる人となるために、今日から何を始めるのか考える日となってほしいと思ってしまう。

日本語研究の老舗である金田一家の3代目、金田一秀穂さんの著書「金田一家、日本語百年のひみつ」で、あいさつで何かを伝えるわけではなく、その言葉が発する行為で親しみを感したり、関係を確認し合ったりする。

人が集団を形成し、社会をつくり出す系口になる、と指摘している。たしかに「おはようございます」など人をねぎらう意味の言葉

が、やがて言葉自体にほとんど意味を持たなくなり、人と人の関係をよくするためだけに使われる言葉は数多くある。

まずは出会う人に、言葉がけする習慣から始めようではないか。

それだけで地域の中に、結び付きが強まり、仲間が増え人生の歩みも楽しいものになるはずだ。

12月に入ってもクマ出没情報が続く。中日新聞のコラム遊歩道さんがクマについてコラムで綴った内容が記憶に残る。近頃のクマた

## 「雄弁は銀、沈黙は金」の心得を大切に

ちが、冬になっても眠らない。いや、恐らく眠れない。暖冬で錯覚したクマたちが、起きたまま冬を乗り切る体力をつけるため、生ごみをあさりに里へ下り、人々に追い立てられる。温暖化、食品ロ

ス。結局は人間による生態系攪乱の、と「ばっちり?」。温暖化の終息が予想されない中で、クマの生息域にどの様な対策が可能か検討の論議が必要と考

えさせられた。高市首相の発言によ

り、日中の関係が話題になっている。私達自身も個人的な思いを安易に情報発信できる時代に生きている事を自覚すべきだ。19世紀の歴史家カーライルの著書にある「雄弁は銀、沈黙は金」がある。雄

弁は大切だが、沈黙すべきときを心得るのはもっと大切に。という戒めの言葉だ。また北原健さんの著書「ユダヤ人大富豪の教え」の中に、「自分の話す言葉に注意しなさい。ふだん、君が話していることは、君の未来をつくる。ふだん話

す、なにげない言葉が、君の運命をつくっていることを忘れないように」と書かれている。言葉の使い方を変



11月下旬開催された県日中友好協会理事会。緊張が続く状況だが更なる友好の取り組みが確認される

えることで、本当の自分の心を伝える術を学ぶべきなのだろう。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)